

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年9月13日（火）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアW2

3 確認項目

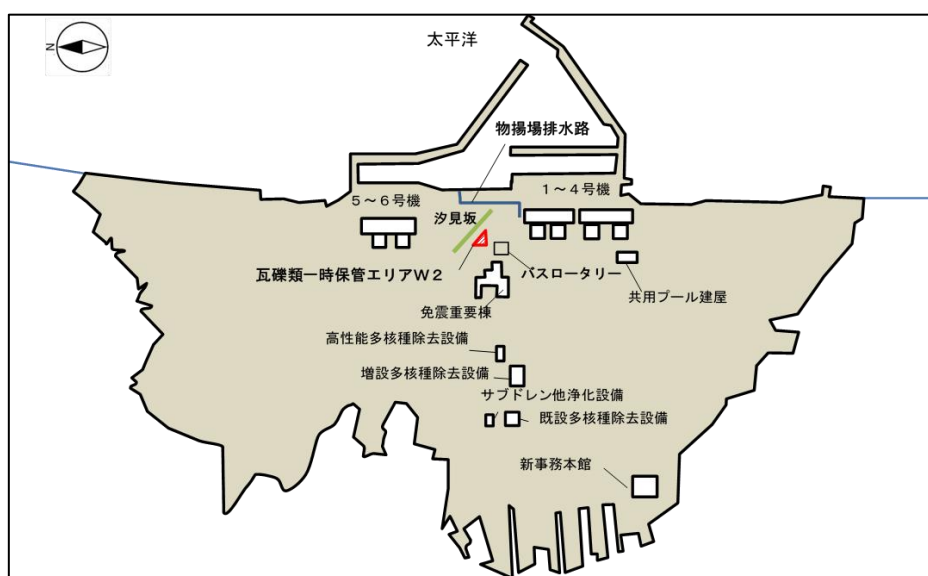
瓦礫類一時保管エリアW2西側における工事の状況

4 確認結果の概要

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2では、令和3年3月に放射性物質がエリア外に漏えいし、物揚場排水路の放射線検出器にて検出されたと考えられる事象が発生している。その後、漏えいした放射性物質の除去、漏えい箇所のアスファルトの剥ぎ取り、再舗装などの対策がなされている。

一時保管エリアW2西側において、新たな道路を設置する工事等が行われていることから、状況を確認した。（前回確認：[令和4年8月8日](#)）（図1）

- ・現地確認時、工事は行われていなかった。
- ・一時保管エリアW2西側が掘削され、北側の道路（汐見坂）とバスロータリーを接続する新しい道路を構築する工事が行われているが、前回から進捗しており、道路の法面にはフェーシングが施されていた。また、道路の縁石が設置されていた（写真1）（写真2）（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
汐見坂から見た工事の状況（北西側より撮影）（前回撮影）



(写真1-2)
汐見坂から見た工事の状況（北西側より撮影）（今回撮影）



(写真2-1)
工事の状況（北東側より撮影）（前回撮影）



(写真2-2)
工事の状況（北東側より撮影）（今回撮影）



(写真3)
工事の状況（南側より撮影）（前回撮影）



(写真3)
工事の状況（南側より撮影）（今回撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。